

令和5年度 学校自己評価重点目標シート（川口市立上青木南小学校）

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	校訓「勤勉」「友愛」「健康」心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな児童の育成 考える子・やさしい子・たくましい子
目指す学校像	「一人一人が生き活きと輝き、笑顔あふれる上青木南小学校」

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

出席者	10名
学校関係者（教職員を除く）	8名
事務局（教職員）	2名

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価（令和6年2月1日 現在）	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	・3年間コロナ禍の影響を受けつつも、教育活動を工夫して実践成果をあげてきた。 ・今後は、ポストコロナを意識した教育活動を組織的に改善していく必要がある。	○ポストコロナにおける創意工夫のある教育活動を組織的に作り上げていく。 ◇不登校・不登校傾向児童の個々の状況に応じた策を講じ、不登校数を減少させる。	○コロナ以前の教育活動の良さを生かしつつも、スクラップ・アンド・ビルドを意識した教育活動の改善 ◇児童・家庭へのこまめなアプローチ、外部機関を含めた相談体制強化。GIGA端末の活用	○運動会や音楽会等、主任の積極的な改善案のもとポストコロナを意識した方法で実施した。 ◇不登校児童の状況に変化なし。昨年度不登校傾向の児童は登校改善できた。	A B ・継続的に、組織的に教育活動の改善を図っていく。
教育課程	・学力向上の研究委嘱の本発表の年であり、新たな視点で児童の学びを更に深めていく必要がある。 ・体力向上の研究成果を踏まえ、今後も継続的に児童の体力向上に努める必要がある。	○各学校課題の解決のため、創意工夫ある教育課程を展開していく。特に、学力向上のための授業の充実を図る。	○アウトプットを重視し協働的な学びの視点を取り入れた授業の充実 ○GIGAシステムの効果的な活用 ○体力向上のための効果的な活動の継続	○アウトプットと協働的な学びを重点として創意工夫した授業展開を図った。 ○全学級において、GIGA端末の活用を取り入れた授業を実施し継続している。 ○体力向上については、各取組を継続。	A B ・2年間の研究を生かし、来年度も学力向上に関する研究を深めていく。
開かれた学校づくり	・これまで、コロナ禍において学校の教育実践を公開することが難しい状況であった。 ・家庭・地域と連携した教育活動が十分にできていない。	○児童及び教職員の姿を、保護者、地域に積極的に発信し、信頼され、誇れる学校づくりを推進する。 ◇学校応援団の活用等、保護者や地域と連携した教育活動を実践していく。	○学校運営協議会を生かした方針等の丁寧な説明と機会を捉えた学校参観 ○学校だよりやホームページ等を活用した情報発信 ◇保護者や地域への働きかけと学校応援団の見直し	○学校運営協議会は新たに給食試食会及び研究主任からの説明を取り入れた。 ○連絡アプリ「コドモン」を9月から導入し情報発信で効果を上げた。 ◇各学年で保護者の学習支援を取り入れ、安全確保や学習の充実を図れた。	A B ・学校応援団として、保護者や地域の教育力を生かす取り組みを充実させていく。
教職員の資質向上	・社会の変化や児童の特性に対応できるよう教職員の指導力を高める必要がある。 ・教職員の働き方改革、及び教育公務員としての自覚と使命感の更なる醸成を図ることが重要である。	○それぞれの経験年数に応じて個々の教職員の力を高める。 ○組織的に指導力を高める。 ◇働き方改革の推進及び教育公務員としての誇りと使命感をもった教職員を育成する。	○研究本発表を生かした研修の充実と授業力の向上 ○生徒指導委員会や特別支援教育委員会の充実と児童理解の推進 ◇組織的な負担軽減と個々のリワークマネジメントの推進 ◇上南小の職員としての自覚と使命感の醸成	○研究発表をはじめ示範授業、年次研修等の機会を生かし指導力を向上させた。 ◇日課表の改善や教科担任制等を行い在校等時間を縮減できた。しかし、一部の教員の負担軽減には至らず。	A B ・授業力の向上と学級経営力の充実を図るため、学ぶ機会を充実させる。 ・どの職員も働き方改革を実感できるよう工夫改善を図る。
施設・設備等の管理	・施設面の経年劣化による修繕の必要性がある。 ・新型コロナウイルス感染対策で必要な整備は継続していく。	○老朽化による危険箇所を早期発見し、安全対策を徹底していく。 ◇学校安全及び感染防止対策・健康維持増進等、計画的・効果的な予算運用を行う。	○複数の目での安全点検、早期発見、早期改善 ◇管理職や事務職を中心に、年間の見直しを持った計画的な予算執行	○管理職や関係主任、事務職等と連携を密にし、施設事故ゼロを継続した。 ◇計画的に予算を執行した。また、安全や健康配慮に対する整備を積極的に行った。	A A ・教職員による施設点検の計画的な実施と、児童の健康と安全確保のために効果的な予算執行を継続していく。

学 校 関 係 者 評 価
※実施日 令和6年1月31日
学校関係者からの意見・要望・評価等
○運動会、音楽会等、ポストコロナを意識した学校運営がしっかりできていた。行事を通して子供たちの生き生きとした姿が見られた。 ○引き続き、感染拡大に備えた対策を。 ○不登校対策は個別のケースによって違うが引き続き取り組みを。 ○不登校の原因は家庭等学校以外にも多いと思われるが、こまめなアプローチを継続してほしい。 ○不登校は個人差はあれ改善傾向が見られよかった。 ○◇「保護者の相談に適切に対応し信頼を得ている」が高い数値だったので期待している。
○GIGA端末の活用がスムーズに進んでいる。 ○創意工夫ある授業、興味を引き出す授業等、楽しい学びができています。 ○「学力向上」に関する研究発表の様子を紹介していただき指導方法の工夫がよく分かった。大人もアウトプットが必要と感じた。 ○自己評価の結果も踏まえて、更なる工夫を期待する。 ○学校教育は学力・体力の数値だけで測れるものではないが、県や市の平均を下回る状況ではない。引き続き創意工夫により改善を。 ○時代に応じた取組から子供達から教わることも多い。
○地域の人達にとって、南小が地域の「誇れる学校」であり続けてほしい。そのための充実を。 ○連絡アプリ「コドモン」が学校・児童（家庭）のコミュニケーションにどう活用されていくか楽しみである。 ○◇コロナ後、保護者・地域と一緒に学校活動に取り組み、学校運営側からも教育の公開が実践されている。 ○◇いろいろな情報をわかりやすく知ることができた。できる限り協力できればと思っている。 ○◇学校・保護者・地域（町会）の役割を明確にし情報共有を。子供たちに影響を与えるための取組を行いたい。 ◇普段の学校や子供たちの様子が見られ、保護者の学習支援等学校応援団はよい。
○研究発表をはじめ、指導力向上のための努力が素晴らしい。 ○教職員の意識や能力の向上なしには児童の教育の向上も図れない。これまで同様、教職員の資質向上に努めてほしい。 ○身近な地域活動にもっと参加して外の情報も受け参考してほしい。 ○全体で足並みをそろえるものもあるが、南小独特の個性や特徴を伸ばしてほしい。 ◇働き方改革は、個人によっても全く異なる。それぞれの先生の自己改革を期待する。小さな工夫の積み重ねを。
○児童の安全確保のための日々の安全点検に感謝する。今後も施設事故ゼロを。 ○安心安全を何より優先してほしい。 ○校内の廊下・壁等に、子供たちの未来が見えるような言葉や画があり心を温かくしている。 ◇予算執行内で学校の安全・児童の健康の保持を継続してほしい。